

炭礦に巢食ふ

不良兒の群れ

倉庫を荒し廻る

被害金額が一千數百圓

内郷村磐城炭礦の町田坑及び綴坑等の倉庫から最近頻々として機械類、鐵材、銅線等が

窃取されるので平署

は忍かに内偵中の處同村大字宮字澤大田利吉(一)大川次郎(二)藤市郎(三)金田政藏(四)戸田榮(五)いづれも偽名の五少年が窃盜團を組織して荒し廻つて居る事を探知し昨廿三日前記

五名全部を檢舉、本

廿四日平署に押送して嚴重取調中であるが目下判明した一味の犯罪は三十件被害一千數百圓に及び更に一味

以外に二十名近い不良兒の取り巻き等ある關係から今後取調への進捗と共に餘罪多數ある見込みで一味は贓品を殆んど二足三文に土地

古物商に賣渡して居

た爲め贓物故買に引懸つた

同村の古物商も同時に續々

平署に舉げられて居る

車輪を外し

他に賣飛す

内郷村大字宮字臺居住磐炭

坑夫佐藤弟治(三)は本月十

六日夜トロの車輪時價十三

圓を外して賣飛した事發覺

昨廿三日平署に檢舉された

が餘罪多數あるらしいと

流行歌手

得意中の曲目

平町青年團の「流行歌と映畫の夕」に松平晃氏の歌ふ曲目は左の八曲に決定したがいづれも同氏得意中の得意とするもので目下平町フアンの話題の中心となつてゐる

のわたし 三志られぬ花 四利根の舟唄 五神の灯 六希望の首途 八急げ幌馬車 尙映畫は「東日トキーニニュース」トキー「朝やけ」その他である

水泳大接戦

磐中勝越す

磐炭對磐中の對抗水泳競技會は昨廿三日午後一時から

磐炭凱歌を奏す

水戸聯合軍を撃破して

既報磐城炭礦競技部は去る廿二日水戸市に遠征し午後一時より水府競技場に於いて水戸市聯合軍と對抗競技を行つたが磐炭側の奮闘目覚しく五十三對二十二の戦績で磐炭チームが大勝した成績左の如くである

(百米)1一一秒九磐炭宇

野2同中井川3水戸保多

(走高跳)1磐炭一米七〇

花澤2同高橋3水戸大久

保(八百米)1磐炭二分一

〇秒小池2同小貫3水戸

吉田(砲丸投)1一一米二

三水戸村上2磐炭中井川

3同渡部(二百米)1二四

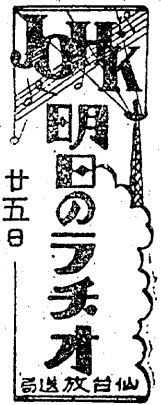
秒水戸中澤2磐炭瀧口3

水戸保多(棒高跳)1三米

二〇水戸福田2磐炭福田

3同渡部(千五百米)1四

分五一秒八磐炭小貫2同



明日のラジオ 廿五日 天 今晩も明日も北 東の風曇り雨模様

今晚の部

後六〇〇 子供の時間 お話「通潤橋」高野直之 後六二五 基礎英語講座 岡倉由三郎 講義「現代の日本書有名と無名との問題」福井利吉郎

明日の部

後八〇〇 新講義「勝安房と坂本龍馬」伊藤痴遊 後八四〇 ラヂオ風景 「新編極夜曲」風俗描寫研究会 後九三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

雄圖空

平商武道部

小池3同佐藤(走市跳)1 六米四五磐炭丹野2同中 井川3水戸保多(四百米) 1五五秒磐炭坂本2同大 谷3同瀧口(圓盤投)1二 八米三七水戸古川2同丹 野3磐炭中井川(五千米) 1一七三分三秒八磐炭工藤 小池3同佐藤(走市跳)1 三日仙臺市で開催の東北帝 大主催の大會へ出場したが 第一回戦で縣内の同志討ち となり柔道部は双葉中學に 二對一、剣道部は福島商業 に一〇對四で共に雄圖空し く惜敗

講演と映畫デー

平町女子青年團が主催

講師は大嶺護士

平町女子青年團にては來月一日午前十時半から平館で講演と映畫デーを開催、辯護士大嶺護士の子として心得置くべき法律に就いての講演あり映畫に移ると

小濱漁船

又、キ大漁

植田町小濱漁港の丹野一氏所有船第一丸は去る廿二日日本郡沖合百海里の地点でス、キ五千貫を漁獲し昨廿

牛乳の中に

虫がウヨク

平窪村 大字中 平窪字 杉田農松本多仁(四)は去る十九日朝平町某牛乳店より配達された牛乳をコップに開けた處牛虫が浮んで居るのを發見し平署に届出たので平署でも衛生上危険があると本日牛乳店主を呼出して嚴重な説諭を加へか

憂さ晴しの酒

命取りとなる

僅か一本のビールに 心臓が驚いて

平町四丁目小林理髮商方職人林怨之助(三)は昨廿三日夜仕事が終わつてから憂さ晴らしにビール一本を飲んで好い機嫌となり同僚を誘つて四丁目裏のカフエ「ボタ」に飲み直しに出掛けたが平常心臓の弱い處へ急激にアルコール分を注ぎ込んだ事と見る／＼顔色蒼白となり同僚が驚いて主家に擔ぎ込んだが及ばず今晩一時遂に絶命したと

上田醫院

平町南町 電話一九二番

東條齒科醫院 平町 北白銀町日本大學齒科醫學士東條守義氏は廿五日から機關庫裏に齒科醫院を開設 毎日午前八時から午後九時迄診療に従事すると



明治太平記

(無断複製 上映及上演)

(作) 寺島征史

第五百七回

洋妾餘情 (二)

「成程……で、その隠れ場所は？」

茂平次は悠々と腰かけを立上つた。

「どうぞ、こちらへ」

支配人は先に立つてドアの外へ出た。

「所さん大丈夫かしら」

おとわは美しく眉をひそめた。

「パークスのらしやめんだ氣を大きくしてゐなされ」

ふたりが室を出て行つてしまつてから、しばらくドアの内外がしいんとしてゐたが、やがてどこからか、

かすかに靴音が響いて來た。ドアが無断で開かれた。

「パークスだな、それとも巡察の隊長かな……」

と思つて、おとわは自然習慣的に居仕舞を直したが

わざとドアの方を背にしてパークスの近づくのを待つた。靴音は身邊に近づいた

そしてパークスの大きな手がかすかに情熱の顫えを傳へてそつとおとわの撫肩に置かれた。

「おとわしやん」

その聲音はしかし

ク

スではなかつた。

「はてな、やつぱり巡察の隊長さんかな。」

おとわは肩におかれた巨きな手に自分の織手巾のせて幾分の餘情をみせた。

「おとわしやん」

を願はした。おとわの顔色が見る／＼蒼白く變つていつた。

「おとわしやん、わたくし嬉しいです」

なで肩にのせてゐた大きな手は、おとわの驚きに介意せずなれ／＼しく今どは上半身を抱きよせようとした。

「おい、此の時だ。この絶好の機會をのがしてまたとかたさうちが出來ようか。」

しかし、なぜかおとわは背後に迫つた敵の心臓に

知らず、日頃慕慕して居るパークスの愛妾おとわを今日こそ心ゆくばかり抱きしめることが出來たので嬉しさにこれもまた、情熱的に身を願はしてゐる。

「……」

おとわは黙々として唇をかんだ。ふところの懐剣を

はやく抜いて一突きに……

と、はやる心の一方で現在敵に面接してをりながら全

何となく

頭痛で不快の方

二三回で不思議に快癒する

フタバの磁氣

平町中仲町(電一九三番)



パークスでない巨きな男はもう一度やさしくおとわの名をよんだ。

おとわはにつこりしてそれに應じおむろに顔を上げた。

「どなた？」

が、上から覗きこんでる大きなあから顔を一見するなり、おとわは思はず身

と

身を荒縄でぐる／＼にいましめられた様な壓迫を感じて、どうすることもできない。 「わたし、長い間あなたにゐがれて居りました。おとわしやん、どうかわたしの心をくんでくださいやい」 ウエルズはおとわの上半身を抱いてゐた大きな手を解いてぐるりとおとわをむき直らした。

頭痛で不快の方

二三回で不思議に快癒する

フタバの磁氣

平町中仲町(電一九三番)

SM ラメカ

招は緑新

花も散つて、自然は緑の世界と變りました。野に山にハイキングの好タイムです。MSカメラこそ貴方の樂しき一日を永遠に残すこととせう。

少年少用年トスベ型一ニロフ

十二圓 十五圓 二十圓

新型ラメカ入荷

ラメカと各種材料

平驛前 づみやカメラ部

吉田眼科病院

平紺屋町電話六八番

醫學士 吉田久雄

電話新設

三〇二番

お魚の御用命は是非弊店へ

平町四丁目

鮮魚 生田目魚店

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木正男

平町田町(電話五八番)

藤田女學校前

自炊のお需めに應ず入院の便あり

外科 内臓外科

レントゲン線

病室完備

醫學博士 諸橋鐵彌

新川町二七 (電四六四)

是非!

御融通には御用命下さい

萬事便利な御相談に應じます

三井質店

平四・電六〇六番